

ホ、四月二十日撥入執行委員會 五六名
 ハ、メーデー闘争は各支部から勤員の下に鳥糞に於て記念演
 説會開催
 ト、六月二十日福岡早良地区では大闘争第一週年記念地区大會
 開催
 チ、福岡地区の進歩により田中新次君を本部書記へ採用
 リ、六月十一日後藤寺塔に移葬されて七月二十五日小倉裁判所
 に於て不起訴となつた石田桐心君を八月一日の撥入執行委
 員會で本部常任に推薦
 ヌ、八月十六、十七日組合員の海水浴を舉行し青年部獨立に於て
 開催
 ル、福岡縣戦犯に至永から立候補をなし元藤原徳太郎君の應援闘
 争に起つ

ヲ、農民戦線統一に就しては一月二十七日神戸キリスト青年會
 館で開かれた兵庫縣農協連合の全國農民團體懇談會に北口常
 任出席
 七月十八日全農連合と戦線統一の問題に就いて演説する豫
 定であつたが全農連合から支部代表が出席しなかつた爲、
 正式に演説會を開催することが出来なかつた

進 歩 方 針 大 綱

客観情勢の分析

一、國際情勢

伊太利は歐々其の帝國主義の發達をエチオピアへ伸はしはじめた
 ムツソリニエーのファッショ政権も進だあがきが収れなくなつたの
 である。其の前途はハケ物として、原料の供給地として東アフリ